愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【併用】総合演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	髙木 靖彦	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

このところ東邦プロジェクトをはじめとする学生主体の活動で多くの成果を出せるようになってきた。また、クラブの中には毎年のように全国大会に出場したり、世界的なイベントで活躍するものも出ている。しかし、それらの活動の広報・情報発信に関しては、必ずしも十分とは言えない状態である。現代社会においては、広報・情報発信は活動そのものよりも重要な場合もあり、学生の活動でも同様である。これらの活動においては、広報・情報発信も学生主体に行うことが必要である。この演習では、自ら情報発信を行ううえで必要な事柄を考えながら、自分のページを作っていく。ただし、web記述言語であるhtmlの文法などを理解することが目的ではないので、webオーサリングツール、または、CMS（コンテンツ・マネージング・システム）を使って作っていく予定である。 後期の総合演習IIでは、前期の学習を基に、グループでより本格的なページを作ることをめざす。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	コンピュータを用いた実習、取材、グループディスカッション、プレゼンテーションなどを含む演習形式で行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	はじめに	前期・総合演習Iの内容をふり返り、後期・総合演習IIで行うことの概要を考える。	□
第2回	大学祭のページを作る（1）概要設計	11月の大学祭のページを、大学祭実行委員会と協力しながら作る。まずは、基本の構成、デザインなどの概要を考える。そして、最初のページを公開する。	□
第3回	大学祭のページを作る（2）基本部分作成	11月の大学祭のページを、大学祭実行委員会と協力しながら作る。この週は、基本的な部分を入力して一応形あるものにする。	□
第4回	大学祭のページを作る（3）詳細部分作成	11月の大学祭のページを、大学祭実行委員会と協力しながら作る。手直しすべき点、新たな情報などを掲載していく。	□
第5回	大学祭のページを作る（4）直前情報の更新	11月の大学祭のページを、大学祭実行委員会と協力しながら作る。直前情報などを掲載していく。	□
第6回	大学祭での動画撮影	ハイライト・シーンとしてwebに掲載する動画を大学祭期間中に撮影する。	□
第7回	大学祭動画の編集	大学祭期間中に撮影した動画をwebに掲載できるようにキャプション等を付ける編集を行う。	□
第8回	大学祭のページを作る（5）本年版を完結させる	ハイライト・シーンとして静止画・動画をwebに掲載し、来年度につながるようにする。	□
第9回	テーマの設定	演習後半は、いくつかのグループに分かれてページを作成することにするので、そのグループ分け、テーマなどを決める。	□
第10回	テーマのページを作る（1）概要設計	グループで作るページの基本の構成、デザインなどの概要を考える。	□
第11回	テーマのページを作る（2）基本部分作成	グループで作るページの基本的な部分を入力して、一応公開できるものにする。	□
第12回	テーマのページを作る（3）詳細部分作成	グループで作るページの詳細な部分まで入力して、完成度を高める。	□
第13回	テーマのページを作る（4）詳細部分作成	グループで作るページの詳細な部分まで入力して、完成度をより高める。	□
第14回	テーマのページを作る（5）不備がある部分の修正	グループで作るページで不備がある部分を修正し、一応完成させる。	□

第15回	まとめ	各グループが作ったページを相互に評価し、この演習での学習成果をまとめる。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)
自ら選んだテーマに関連した情報収集や素材の撮影を行うこと（毎週2時間程度）。チームで決められた自らの役割をこなすこと（毎週2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)
作成されたページ等は、その回のうちにメンバー相互に講評を行い、改善していくようにする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	コンピュータとソフトウェアの基本を理解して、コンピュータを使えているか。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	作られたページが、自分たちの活動を部外者に対して十分にアピールするものになっているか。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	自分たちの活動を部外者に対してアピールするためには何を発信するべきかを、グループでの討論等を通して明確にすることができるか。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			100%	

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		